

I'm interested in seeing the world and painting it, which is the basic problem about the paintings. I sketch the scene by texts, and paint it from the texts. This process makes me free from "right" forms and colors : For example, photos and Renaissance perspective, which I believe unconsciously. And I can consider deeply about seeing the world and painting it.

I paint the surface of the water and the surface of the glass.
Because they shows me how truly difficult it is to see the world and paint it.
I cannot see the surface of the water.
The surface of the water reflects and transmits light.
Although I can see the reflected light and the bottom of the water,
I cannot see the surface itself.
The surface of the water continually moves and changes its pattern,
so you cannot grasp its shape.

But doesn't this condition of the surface of water apply to everything else, as well?
All things (including me) reflect, transmit, and move continuously, even if only a little.
I believe I am seeing the world around me, but could it be
I'm actually not seeing one single thing?

私は、絵画における根本である、ものを見て描くことに興味があります。
私はスケッチを文章で行い、その文章を基に絵を描いています。
このプロセスは、私が無意識に信じてしまっている、
写真やルネサンスの遠近法のような「正しさ」から自由にさせてくれ、
私はより深くものを見て描くことを考えることが出来るのです。

私は水面やガラスの表面を描いています。私がこれらを選んでいるのは、
これらが、ものを見るということ、さらには描くということが
いかに困難であるかをはっきりと示してくれるからです。

私は水面を見る事が出来ません。
水面は光を反射し、あるいは透けてしまいます。
だから私は、反射した光や透けた先の水の底を見ることは出来ても、
水面はそのものを見ることは出来ません。
水面は、少しずつパターンを変えながら絶えず動いています。
だから私は、いつも水面の形を捉えることが出来ません。

しかし、それは水面だけではないのではないのでしょうか？
あらゆるもの(私も含めて)が、微かではあっても、反射し、透き通り、
絶えず動いているのではないのでしょうか？
私はものを見えていると思っているが、
実は何一つ見えてなどいないのではないのでしょうか？